

令和 7 年亀岡市議会定例会 6 月議会一般質問

亀岡市議会

令和7年亀岡市議会定例会6月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式
6月17日(火)	10:00～	個人	1 三上 泉	一問一答
	10:45～		2 山本 由美子	一問一答
			休憩	
	13:00～		3 大石 慶明	一問一答
	13:45～		4 平本 英久	一問一答
			休憩	
	14:45～		5 土岐 新	一問一答
6月18日(水)	10:00～	個人	6 原野 実生子	一問一答
	10:45～		7 大西 陽春	一問一答
			休憩	
	13:00～		8 富谷 加都子	一問一答
	13:45～		9 福井 英昭	一問一答
			休憩	
	14:45～		10 大塚 建彦	一問一答
6月19日(木)	15:30～		11 竹内 博士	一問一答
6月19日(木)	10:00～	個人	12 木村 勲	一問一答
	10:45～		13 片山 輝夫	一問一答
			休憩	
	13:00～		14 林 徹司	一問一答
	13:45～		15 西口 純生	一問一答
			休憩	
	14:45～		16 齊藤 一義	一問一答
6月20日(金)	15:30～		17 梅本 靖博	一問一答
	10:00～	個人	18 山木 裕也	一問一答
	10:45～		19 法貴 隆司	一問一答
			休憩	
	13:00～		20 浅田 晴彦	一問一答
	13:45～		21 松山 雅行	一問一答
			休憩	
	14:45～		22 小林 仁	一問一答
	15:30～		23 菱田 光紀	一問一答

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和 7 年 亀岡市議会定例会 6 月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	三上 泉 6 月 17 日(火) 10:00~ ※一問一答	1 市長の政治 姿勢について	70 年前、亀岡市は市制施行と同時に全国に先駆けて世界連邦平和都市を宣言し、平成 22 年には「核兵器廃絶」の趣旨を込めた「世界連邦・非核平和都市」を新たに宣言した。今年は市制施行 70 周年であると同時に、戦後・被爆 80 年、世界連邦・非核平和都市宣言 15 周年の節目の年でもある。平和を願う市民の声も多く聞かれている。一方で、沖縄をめぐる発言が大きな波紋を呼び、市民の間でも話題となっている。 (1) 戦後・被爆 80 年の節目の年に、平和や核兵器廃絶を広く発信する必要性について問う。 ① 中学生が平和学習を行う沖縄への修学旅行の意義と、唯一の地上戦で亀岡から出征した戦没者 81 名を含む多くの兵士や多くの県民が犠牲となり、今も米軍基地など課題が残る沖縄県に対する市長の平和への思いは。 ② 沖縄戦終結の日とされる 6 月 23 日の「慰霊の日」に、市長として沖縄に連帯し恒久平和を希求する談話などを発信してはどうか。 ③ 小学生が平和学習を行う広島への修学旅行の意義と、核兵器廃絶、核兵器禁止条約批准を求める市長の所見は。 ④ 8 月 6 日・9 日の原爆投下の日にちなんで、核兵器廃絶、核兵器禁止条約批准を求める談話などを発信してはどうか。 前回の 3 月定例会で、「真のエリートとは弱者に寄り添えること」と述べ、「亀岡市が、全国や世界から憧れて選ばれるまち、つまりエリートのまちになるならば、弱者に寄り添うことを大事にしていきたい」と予算の組み替えを求めた。そのことは叶わなかったが、誰一人取り残さないまちを目指すために、引き続き以下の点を求め、所見を問う。 (2) 経済的困窮者への水道料金・基本料金の支援事業、社会的孤立を感じる高齢者を励まし支援する、補聴器購入補助などの事業、ノーマライゼーションの精神や合理的配慮を大切にした、障がい者が住みよいまちになるための施策の充実などに力を入れるべきではないか。 (3) 市民の移動権の確保について、とりわけ、市民活動の拠点となるガレリアかめおかやその周辺、市役所などに市民が行きやすい交通網の再整備をすべきではないか。	市長

		(4) SDGs 未来都市、環境先進都市、オーガニックビレッジ、子どもファーストなど、市長が目指す「選ばれるまち」の構想と、大規模なセンターを新設して給食提供する学校給食の基本方針に、少し乖離があるように思われる。可能な範囲でもうひとひねりできると考えるが所見は。	
	2 小・中一貫教育について	新教育長が就任され、今後も本市の教育について積極的な意見交換を重ねていきたいと考えている。とりわけ、学校規模適正化や小・中一貫教育については大いに議論したいと考えている。当面する課題として育親学園の教育条件整備について問う。 (1) 育親学園の通学バスの運行上、朝の登校が早い児童生徒がおり、教職員の時間外勤務が甚だしいことを取り上げ、対策を求め、検討する旨の答弁があったが、なんの対策も講じられていないと聞く。社会教育課所管のかめおか児童クラブで利用されるバスや路線バスの利用などを含め、抜本的な改善が必要ではないか。 (2) 「現場の先生方に負担をかけない」と言明してきたが、1年遅れることとなった新校舎建設に対する現場教職員からの様々な要望、勤務条件に係る要望はどの程度取り入れられているのか。	市長 教育長 所管部長
	3 子どもの権利条例の具現化について	子どもの権利条例に基づく施策の充実を、これまでから議会で求めてきた。市は、まずは子どもの貧困について調査を進め、貧困から子どもを守る施策の検討、ヤングケアラーの把握や支援策などに力を注がれてきた。一方で、権利の主体者である子どもが意見表明権を行使することによって、学校をより良くしたり、市の施策に生かしたりする取組について、後手に回っている感は否めない。 (1) 今全国に広がりつつある、ルールメイキングの取組についての所見は。 (2) 前述の取組では、いくつかの都道府県・市町村教育委員会をはじめ、公立・私立の学校がパートナー登録を行い、情報を交流・共有するとともに、生徒が主体的にルールを作り、守ることによって、豊かな学校生活を築いている。本市の学校教育にも取り入れられないか。 (3) ルールメイキングに登録している大阪府泉大津市立小津中学校では、生徒の様々な活動の一環として、学校標準服の選定の取組がある。義務教育は無償であるとする憲法の理念上、義務教育においては「制服」という言葉は馴染まず、物価高騰により入学に際し多額の費用がかかる中で、本市でも学校標準服や	市長 教育長 所管部長

		4 市民の森長尾山について	持ち物の在り方を検討すべではないかと考えるが所見は。 市民の森長尾山は、亀岡市が亀岡市土地開発公社から財産として取得し、市からの委託を受け、地域の方々の努力で整備が進められてきた。昨今では保育所・幼稚園・学校など子どもだけで年間1,000人程度、大人が1,000人程度訪れて、自然と親しむ活動・体験をされている。今秋には市制施行70周年記念「冠事業」として、ハイキングや焼き芋大会が催されることになっている。 (1) 全国で相次ぐ山林・林野火災の報に触れるたびに、子どももたくさん訪れる長尾山の安全対策が気になる。この間も、たばこの吸い殻やたき火痕、花火の軸などが見つかった。何か事が起されば亀岡市の責任となる。見回りや対策の強化を考えているか。 (2) 以前から、長尾山は希少生物の生息地として知られているが、昨今の調査・研究により、生物多様性のより貴重な場所として注目され、その保全の必要性が高まっている。市として関連機関や専門家と連携して詳細な調査をした上で、保護・保全の方向性を定めるべきだ考えるが、まずは、しっかりとした調査を行うことから始めてはどうか。 (3) 森林保全の観点からだけでなく、将来的には、希少生物生息地である長尾山について、Circular Kameoka Labでコーナーを設けるなど環境保全のシンボルとして広く知らせていくことを見通してはどうか。	市長 所管部長
2	山本由美子 6月17日(火) 10:45～ ※一問一答	1 人生会議（ACP）の普及・啓発について	厚生労働省は、全ての国民が人生の最終段階の医療やケアについて、本人の望みと意思が十分に尊重されるよう、日常から家族や医療機関などと情報を共有する取組、人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の普及・啓発を推進している。 (1) 人生会議についての認識と市民の認知度をどのように捉えているか。 (2) 本市における市民への人生会議の普及・啓発の取組は。 (3) 普及・啓発の取組として、広報誌への掲載や人生会議啓発ポスターの作成、人生会議の日（11月30日）に人生会議についての企画展示コーナーを設置してはどうか。 (4) 医療・介護従事者の支援者に向けた研修会などの実施状況は。 (5) 本市における在宅医療の現状と課題は。 (6) 本市における在宅医療の提供体制整備・強化に向けた取組は。	市長 所管部長

	2 母子保健DXの推進について	妊婦・乳幼児健診などは現状、問診票など紙による運用が基本となっているため、市民や自治体、医療機関において負担や手間の他、健診結果などの共有にもタイムラグが生じている。これらの課題解決を図るため、国において母子保健情報の迅速な共有・活用を可能とする母子保健DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進が図られている。自治体としてはデジタル化に対応するためのシステムの標準化が求められ、市民がデジタル化の恩恵を受けるためにはマイナンバーカードの保有が必要となる。 (1) 母子保健DXの導入により市民や自治体及び医療機関にとって期待できる効果は。 (2) 国では令和8年度から電子版母子健康手帳の普及を含む母子保健DXの全国展開を目指すとしているが、国が示すスケジュール通り導入可能か。見通しと考えられる課題は。 (3) 出産前後に里帰りをする際の煩雑な事務手続はどのように改善されるのか。 (4) 母子保健DXにはマイナンバーカードの保有が前提となる。全国的には、60歳以上の保有率はおおむね80%を超えているが、それより若い世代では70%前後となっており、特に、乳幼児（0～4歳）は、51.6%と最も低くなっている。本市の現状とマイナンバーカード普及のための取組は。 (5) 国は令和6年12月2日より、乳児（満1歳未満）などを対象に、申請してから原則1週間程度でマイナンバーカードを交付する「特急発行・交付制度」を実施している。乳児の場合、出生届と同時にマイナンバーカードを申請することが可能となっているが、制度の周知及び利用状況は。	市長 所管部長
	3 朝の小1の壁について	子どもが小学校に入学すると、保育所に預けていた時間よりも登校時間が遅いため、共働き世帯やひとり親世帯において、子どもの朝の居場所に困るなどの支障が出ている。 (1) 令和6年6月議会で、朝における小1の壁解消について一般質問で取り上げたが、その後保護者の必要性や要望などはどのように把握されたのか。 (2) 小学校入学予定の児童も必要であれば、かめおか児童クラブを利用することができる。過去3年間の利用状況と保護者からの意見や要望など相談の実態は。 (3) こども家庭庁が昨年に行った、自治体における平日朝の居場所確保に向けた取組についての調査報告書では、対策が進んでいない実態が浮き彫りとなった。同庁は調査結果から「適切な支援につなげる必要がある」として、今年3月31日に全国の自治体に対し、地域の実情に応じて対策を進めるよう通知	市長 教育長 所管部長

			を発出した。この通知に対する本市の見解は。 (4) 朝の小1の壁の実態を把握し、実情に応じた支援策を講じるべきと考えるが、本市として今後どのように取り組んでいくのか。 (5) 本市職員の働き方である時差出勤において、昨年8月1日より対象を小学校卒業までの児童を持つ職員へと拡充されたが、利用実績は。	
3	大石 慶明 6月17日(火) 13:00～ ※一問一答	1 避難所等の尊厳の確保について 2 障がい者の就労支援について	近年、地球の温暖化に伴い異常気象による集中豪雨、台風の襲来、地震が多発している状況となっており、本市においても市民の安全確保に向けた取組が一層重要となっている。特に避難所等において市民が尊厳ある生活を営むための最低基準を確保する必要があるが、これらの基準を守るための取組について問う。 (1) 被災者が避難所等で尊厳ある生活を営むための最低基準としてスフィア基準があるが、その内容は。 (2) 現状におけるスフィア基準を配慮した避難所等の環境整備状況は。 (3) 本市の「避難所開設・運営マニュアル」はスフィア基準を反映した内容となっているのか。 (4) 令和6年末に内閣府が自治体向けの避難所に関する取組方針・ガイドラインを改定されたと聞いているが、その内容は。 (5) 本市においても今後は、このガイドラインに基づき環境整備を進めて行くこととなると考えるが、実現に向けた課題及び今後の取組策は。 (6) 本市が買収したJ A京都本店跡地は防災拠点として活用すると聞いているが、スフィア基準に準拠した環境整備に取り組む所見は。 米の異常な高値を含めて、近年の諸物価高騰は著しい状況となっており、市民から生活苦の話をよく聞く状況である。特に障がい者の生活は厳しい状況となっており、収入確保の観点から、就労面についてもさらなる支援が必要と考える。 (1) 過去3年間における障がい者の就労支援の相談件数は。 (2) 本市には「亀岡市障害就労支援共同センター」を設置し、11の事業所で就労支援を実施しているが、障がい者が就労支援を受けるには、これらの事業所に所属することが条件なのか。それ以外の方法はないのか。 (3) 本市の「雇用促進奨励金」制度があると聞いているが、その内容は。 (4) 「雇用促進奨励金」の交付を受けるには一定の条件を満たす必要があると理解しているが、その条件を緩和し、障がい者を含めて	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 市民への情報発信の充実について	雇用する事業所を増加させることも必要だと考えるが、所見は。 (5) 人材確保が困難になっている現在の状況下において、特に小規模事業所の人材確保が厳しいと聞いている。障がい者を雇用した事業所に対する補助金等を検討すべきと考えるが、所見は。 市からの情報は地域住民の生活に不可欠な情報を多く含んでおり、その情報発信ツールとしてSNS、ホームページ、広報誌等を駆使し、取り組んでいただいているところである。しかしながら本市も高齢化が進みインターネット等を活用できない市民が増加していないか懸念している。 (1) 現時点における40歳台以上における年代別の携帯電話の保有率は。 (2) LINE等による亀岡市からの情報受信ツールの登録状況は。 (3) 移動型のスマホセミナーを実施し、スマホの利用拡大に取り組んでいるが参加状況は。 (4) 福岡県行橋市では、テレビのdボタンを押すことにより高齢者でも安易でタイムリーに市の情報を入手できる仕組みを作っており、本市でも導入を検討すべきと考えるが所見は。 (5) シティプロモーションを含め、今後の情報発信の充実についての検討は。	市長 所管部長
4	平本 英久 6月17日(火) 13:45～ ※一問一答	1 国際安全都市宣言に関する取組について 2 子どもへの施策の充実について	市制70周年を迎え、本市として新たに国際安全都市宣言を行ったが、具体的な取組について問う。 (1) 国際安全都市宣言とは具体的にどのようなものか。 (2) 国際安全都市宣言による成果はどのようなことを考えているのか。 (3) 第1回国際安全都市アジア市民大会in京都・亀岡とはどのようなものか。 (4) 国際安全都市宣言を通して目指すべき未来像はどのようなものか。 子どもファースト宣言を基軸として様々な子どもへの施策に積極的に取り組んできた本市であるが、現状と今後の取組について問う。 (1) 子どもファーストクーポン事業の進捗はどうか。 (2) 子どもファーストクーポン事業の一環として行われる、お米5キロ分の配布はどのように行うのか。 (3) 児童生徒に「2025年大阪・関西万博」を体験してもらう取組として校外学習を行っているが、事業の実施状況はどうか。 (4) 今後の気候を考えると万博会場での暑さ対策が必要だと思うが、どのような対策を検討	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 市制70周年での観光事業の取組について 4 福祉都市として目指す都市像について	しているのか。 これまでも地域活性化を目指し様々なイベントや事業を行ってきたが、市制70周年を迎えるにあたり、本年に行う事業の成果ならびに経済的効果について問う。 (1) 先般開催された亀岡光秀まつりの事業実績と成果や経済的効果はどうか。 (2) 本年の光秀まつりの開催では武者行列のコースなどの変更点があったが、分析・検証の結果はどうか。 (3) 来年の光秀まつりは今回の検証を踏まえてどのように行うのか。 (4) 今年開催予定の「京都・保津川花火大会」の規模や具体的な内容はどのようなものか。 (5) 「京都・保津川花火大会」における亀岡市民ならびに子ども達への優遇措置はあるのか。 SDGsの中にも示されているように、誰1人取り残さない社会の実現は重要であると考え。本市は福祉都市宣言を行っているが、総合的なバリアフリーについての本市の考え方を問う。 (1) 障がいをお持ちの方が亀岡市自転車等駐車場(駐輪場)を利用する際の減額手続はどのようになっているのか。 (2) 障害者手帳を保持されている方の減額手続を簡素化する考えはないのか。 (3) 市営火葬場における高齢者並びに足の不自由な方への対応はどうなっているのか。	市長 所管部長 市長 所管部長
5	土岐 新 6月17日(火) 14:45~ ※一問一答	1 タクシーの運転手不足の解消について 2 市営住宅駐車場について	全国的に高齢化が進み運転免許証を返納される方が増え、さらに過疎化も懸念される中で、交通手段の確保が大変重要となる。 (1) 運転手不足がさらに加速し、タクシーがなくなると、本市にどのような影響があると考えなのか。 (2) 本市に唯一あるタクシー会社、京都タクシー株式会社と今後どのように連携していくのか。 (3) 本市として、職員に認めている副業・兼業にはどのようなものがあるのか。 (4) タクシー会社とより連携し運転手不足解消に向けて新たな取組を進める考えは。 (5) 市職員が副業や兼業でタクシーの運転手になれるような環境づくりや取組を行ってはどうか。 (6) 運転手不足解消のため、保育士確保の取組と同様に就職奨励金事業や宿舍借り上げ支援事業の取組を行ってはどうか。 市営住宅に住む一部の住人から、駐車場の料金徴収について問合せがあった。	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 教育について	(1)市営住宅の駐車場料金はどのように設定しているのか。 (2)駐車場料金の徴収方法は。 (3)団地ごとに統一した料金を設定してはどうか。 (4)市が適切だと考える料金の金額は。 (5)市民生活の負担軽減のため、駐車場料金を引き下げてはどうか。 (6)適正に料金が徴収できるよう、市が駐車場を管理してはどうか。 川勝教育長が就任され、亀岡市の教育行政も新たな体制で進められている。児童生徒、教員、誰にとってもよりよい教育環境となるよう、改革を大きく期待する。教育長の教育方針について問う。 (1)教育長が目指す今後の小学校教育は。 (2)教育長が目指す今後の中学校教育は。 近年、児童生徒がSNSを利用したことで、事件に巻き込まれたり、犯罪に手を伸ばしてしまったというニュースを見ることが増えてきた。時代に沿った指導も必要であると考えている。 (3)SNSの使い方の啓発、対策、指導を学校で行っているのか。 (4)小学校における教育方法の改革についての考えは。	教育長
6	原野実生子 6月18日(水) 10:00~ ※一問一答	1 地域運営について 2 太陽光発電設備について	少子高齢化に伴う人口減少や、価値観の多様化により、地域運営に欠かせない住民の協力が得られにくい時代となりつつある。本市の今後の地域運営についての考えを問う。 (1)地域の中で、組として存続することが難しいところを市としてどのくらい把握しているのか。 (2)人口減少で地域活動の運営が難しい状況であり、さらに表面化する前に手立てを講じる必要があると考えるが所見は。 本年の3月議会で質問した、亀岡市太陽光発電設備の設置及び管理に関する条例について、海外への移住等で土地の所有者が不明となるリスクや太陽光発電設備の放置に係る未然防止策について本市の考えを問う。 (1)3月議会で提案したとおり、条例の一部改正により、新規で太陽光発電設備を設置する事業者に対して、預かり金の設定をする必要があると考えるが所見は。 (2)既に太陽光発電設備を設置している事業者が廃棄等費用積立を十分に行っているか定期的に確認しているのか。 (3)十分な廃棄等費用積立状況ではない事業者に対して指導等を行う考えは。	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 不法投棄の対応について	不法投棄で困っている市民への対応について問う。 (1)ごみの不法投棄による市民からの通報があった場合の対応の流れは。 (2) 不法投棄されたごみの内、小物であれば発見者である市民の方が、購入されたごみ袋を利用して分別されると聞くと、発見者に負担がかからない方法は。	市長 所管部長
		4 災害時の医療環境について	未曾有の災害が起きた際の医療環境の構築として、市立病院や亀岡市医師会等の連携について問う。 (1)市立病院が災害時に救急患者を受け入れる計画はなされているのか。 (2) 夜間や休日において、災害により市外に出る道路交通網が寸断された場合、医師や救命救急士を招集し、救護体制をとる計画はなされているのか。	市長 病院管理者 所管部長
		5 2歳6か月児歯科健診について	他の健康診査と比べ、2歳6か月児歯科健診の受診率が低い傾向にある。 (1) 1歳6か月児健康診査と、2歳6か月児歯科健診の受診率は。 (2) 健診費用(500円)を撤廃する考えは。	市長 所管部長
7	大西 陽春 6月18日(水) 10:45~ ※一問一答	1 命を救うAEDの設置について	一般財団法人日本救急医療財団のガイドラインでは「人口密集地帯にある公共施設は、住民の命を守るという視点から、施設の規模の大小、利用者に問わずAEDを設置することが望ましい。」としている。本市で市民からAED設置を求める声を聞く。 (1) AEDは適切なメンテナンスを行う必要がある。現在、設置されているAEDの管理はどのようにしているのか。 (2) AEDの使用を含む救命処置の講習を市民向けにどのように行っているか。 (3) 高齢化が進む周辺地域の住民からAEDをいつでも迅速に使用できる場所に設置してほしいとの要望があるが、本市での設置を増やすために、設置に対する補助を行う考えは。	市長 所管部長
		2 生活困窮者への支援について	物価高騰により生活が困難との相談が多い。生活に困った時の施策があるのか。 (1) 生活保護の相談や申請があった世帯のうち、不支給となった世帯の数とその世帯へのサポートはどのようになっているのか。 (2) 生活保護を相談する市民に対して、経済面だけでなくその人の生きづらさの背景を捉え、どのように他の部署の支援につないでいるのか。 (3) 生活保護の世帯に夏季のエアコン購入や補修、エアコンの使用にかかる電気代の補助が	市長 所管部長

		3 食育を生かす学校給食について	必要だと考えるが所見は。 (4) 学生服の購入が困難な家庭が、学生服リュースの支援を受けられるように、市役所のロビーに回収ボックスを設置することはできないか。 亀岡市学校給食実施方針が令和7年3月に策定された。方針の3に「食の正しい知識と食習慣を身につける食育と地産地消を推進します」とある。食育を大切に考えて学校給食を実施することは3月議会でも確認した。その中で、先日の京都新聞の報道では「1カ所で共同調理する給食センターを新設する方針を固めた。」と書かれていた。食育や地産地消の実現ができるのか。 (1) 栄養教諭の役割をどのように考えているのか。 (2) 1カ所の給食センターで実施した場合の栄養教諭の配置は、亀岡市全体でどのようなになるのか。 (3) 地産地消の考えを学校給食に取り入れるために具体的に考えていることは。 (4) アレルギーを持つ児童生徒への対応はどのように考えているのか。 (5) いくつかの調理場があれば異物混入や食中毒などがあっても、市内全ての学校給食が停止するリスクが低くなると考えるが、所見は。 (6) 育親学園の自校調理オーガニック給食とセンター方式での給食と給食の内容を同じようにできるのか。 (7) 防災食育センターが他の自治体にはある。亀岡市として取り入れることも有効だと考えるが所見は。	市長 教育長 所管部長
8	富谷加都子 6月18日(水) 13:00~ ※一問一答	1 移動販売について	移動販売は、高齢者をはじめとする買い物弱者にとって生活の質を豊かにできる地域資源である。さらに、対面販売である移動販売は、食の供給だけでなく地域経済やコミュニティの活性化及び介護予防等多くの相乗効果が期待できる。 (1) 本市の移動販売事業所等の現状は。 (2) 自動車運転免許証を自主返納し、買い物に不自由を感じておられる高齢者は多いと思われるが、亀岡市の実態についての認識は。 (3) 市内全域に、移動販売サービスが定着すれば、徒歩での買い物が可能となり、暮らしの充足度が増すと考える。事業化するとすれば、地域の課題解決の手段として、質の担保は必須である。買い物弱者への対応とともに、市が求める包括的な役割は。 (4) 市独自で認定要件を制度化し、地域資源の質を確保する仕組みづくりが必要と考えるがどうか。 (5) 仕組みづくりを構築した上で、市の広報・	市長 所管部長

		2 子育て支援について 3 亀岡市無料相談について	周知をはじめ、市ができる支援とは。 児童虐待の相談対応件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化している状況等を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化として、令和4年に「改正児童福祉法」が公布され昨年施行された。 (1) 法改正を受け、子育て支援の中核であるこども家庭センターの役割として強化されたものはあるか。 (2) 全ての妊産婦・子育て世代・こどもの包括的な相談支援から顕在化した課題はあるか。 (3) 改正児童福祉法において、市区町村に新設された子育て世帯訪問支援事業(訪問による生活の支援)の目的は。 (4) 子育て世帯訪問支援事業の現状は。 (5) 京都府が実施されている産前・産後訪問支援員養成講座の受講状況は。 (6) 産前産後支援の包括的な有資格者である「産後ドゥーラ」についての市の認識は。 (7) 子育て世代にとって、家事・育児・母親支援を担える産後ドゥーラの存在価値は大きいと考える。今後、人材確保・育成すべきと考えるがどうか。 (8) 低年齢児の保護者から、「申込みをしたが、入園不承諾となった」とのお声を聞くが、0歳児、1歳児、2歳児の待機児童の状況は。 (9) 今年度、亀岡市立幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行された。移行により、0歳児から受入れ対象となったと思うが、3歳児からの受入れにしたのはなぜか。 常設相談をはじめ、弁護士や司法書士、税理士等体制整備を強化され、市民が抱える困り事の解決に向け、法律のアドバイスを行っており、多くの市民にご利用いただいている。中でも、相続相談は好評を得ている。 (1) 年間の相談件数は。 (2) 相談件数の多い内容は。 (3) 市民から、贈与についての相談を聞くことがあるが、相続相談時に併せて聞くことはできないか。 (4) 来庁が困難な相談者に配慮してZoom等を活用したオンラインでの相談を導入できないか。	市長 所管部長 市長 所管部長
9	福井 英昭 6月18日(水) 13:45～ ※一問一答	1 新防災拠点について	亀岡市が買収した京都農業協同組合本店跡地の防災拠点新設計画について、現時点での構想について問う。 (1) 改めて、敷地面積は。 (2) 平時に駐車場として使用する場合、駐車可能台数は。 (3) 防災拠点としての相対的規模感やコンセプト	市長 教育長 所管部長

		トは。 (4) 西北角に残された、旧コンビニの建物について、どのような活用方法を考えているのか。 (5) 更地となった部分は、どのようなものになるのか。 (6) 亀岡市内には、正式なヘリポートがないが、改めてヘリポートを設置する考えは。 (7) 現在、構想を計画している博物館や文化ホールをこの敷地内に建てることはできないのか。 (8) 避難所を兼ねた防災センターのような建物を建築できないか。 (9) 防災機能を備えた給食センターを設置できないか。 (10) 防災センターとして周辺道路の整備などが必要になると考えるがどうか。 (11) この地で大規模防災センターを設置することによって、緊急輸送道路を計画する際などに有利になるのではないか。	
	2 有機米生産促進と米価の相関について	市場では、昨年の2倍を超える価格で米が販売されており、政府は備蓄米を放出し、米価を調整するつもりのようなが、私自身は、一時的な効果だけで、根本的な解決になるとは考えていない。国民の主食であり、食料安全保障の観点からも、亀岡市の基幹産業の一つでもある農業の観点からも、市場の適正な価格の安定化が望まれる。 (1) 亀岡市は、有機米の生産を促進し、学校給食の米食日の約70%も有機米給食が達成できていると聞いているが、その経過と現況は。 (2) 有機米給食の提供は、栄養面、安全面だけでなく、食育の観点からも素晴らしいことであるが、教育効果をあげるためには、児童生徒や保護者への認知が不可欠であると考えるが、現状はどうか。 (3) 有機米の生産促進には、食育の効果だけではなく、亀岡市の環境先進都市の構想のイメージ化、ブランド化を目指すことが「頂」であるように思うが、所見は。 (4) 学校給食に提供している有機米は、一般の米価と価格差をつけて買い取っているのが現状だと思うが、有機米を増産するためにも、一般の米価との関係は大切だと思うが、所見は。 (5) 市が目指す有機米の生産拡大は、最終的に何を指すのか、わかりにくくなってしまわないか。 (6) 政府が行っている備蓄米の放出のような一時しのぎの政策ではなく、有機米に限らず、生産から流通まで行う亀岡独自の道筋を考えてはどうか。	市長 教育長 所管部長

10	大塚 建彦 6月18日(水) 14:45~ ※一問一答	1 有機農業団地について 2 ペースメーカー装着者への対応について 3 南郷池の整備と利活用について	令和7年度予算の中に新規事業として、有機農業団地形成モデル事業がある。有機農業団地とは、従来、農地の集約と転用、共同利用の農機・出荷施設の整備、技術研修や営農指導の3本柱が主流である。私は「生活と農業の両立」を図る次世代型の農業団地構想こそ、亀岡市における、先進的かつ持続可能な取組であると確信する。 (1) 本市における新規就農者の定着状況について、過去数年間の離農率や住宅確保の実態は。 (2) 団地隣接地に住宅を整備し、生活基盤を支える体制を整える必要性について、市の基本的な考えは。 (3) 国の補助制度を活用した住宅整備を検討する考えは。 (4) 本市の既存集落まちづくり区域指定制度を活用してはどうか。 近年、医療技術の進歩により、ペースメーカーをはじめとする埋め込み型医療機器の小型化、高性能化が進み、中にはリードレス型など取り外しが困難な機種も増えている。一方で亀岡市の火葬場では、京都府内で唯一、ペースメーカー装着者に対して「摘出しなければ火葬が出来ない」とする運用がなされている。 (1) 現在、ペースメーカーなどの埋め込み型医療機器を装着した故人を火葬するにあたっては、どのように運用・対応しているのか。 (2) 火葬前の取り外しを一律に求める明確な基準や条例などは存在するのか。 (3) 現在の運用について、医師会や葬儀会社などと協議や見直しの検討はされているのか。 (4) 全国の運用例や厚労省通知などに照らし、機器の取り外しが困難な場合は柔軟に対応できないか。 (5) 今後、火葬場の運営について亀岡市医師会と連携し、実態に即した対応を検討する考えは。 亀岡市内を流れる雑水川の中流に位置する南郷池は、憩いの場であり、来年度開催される「全国都市緑化フェア in 京都丹波」の際には、城下町の玄関口として多数の来訪者が見込まれる。しかし、上流からの土砂流入により、池は堆積物で浅くなり、また、木製の手すりも老朽化し安全性に課題がある。 (1) 堆積物の早期除去を要望する考えは。 (2) 老朽化した遊歩道や手すりなどの安全対策を本市が実施する考えは。 (3) 維持管理も含めた包括的な委託業務とし、地元業者を活用することができる柔軟な発注方式を導入することはできないか。	市長 市長 所管部長 市長 所管部長
----	---	---	---	---

		4 亀岡市障害者就労支援共同センターについて	(4) 地域の企業などが熟知する池の実情と緊急性を踏まえ、地元業者の活用を図ることができないか。 就労継続支援B型事業の一つである、サンガスタジアムにおける障がい者就労支援事業は、令和3年開始以来、シーズン中に4回実施されてきたが、今年度は6回に増やしていただくことができた。また、令和7年度予算において、障がい者就労支援事業費も増額されている。ホームゲーム時に亀岡市内の作業所で作られた物品を販売する機会も設けていただき、工賃の増収に寄与している。 (1) 本事業は障がいのある方の社会参加を促す取組であるが、市としての評価は。 (2) 今年度、障がい者就労継続支援事業費が増額されているが、その背景と今後の財政的な継続性について見解は。 (3) 将来的に亀岡市障害者就労支援共同センター単独ではなく、クラブや民間事業者との共同運営など、多様な財源確保の可能性についてどのように考えているのか。	市長 所管部長
11	竹内 博士 6月18日(水) 15:30~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について 2 暑さ対策と市民の健康について	ガレリアかめおかの施設整備について問う。 (1) ガレリアかめおかの長寿命化に向けた施設整備の現状と今後の修繕計画は。 (2) かめまるランドの現在の利用状況は。 (3) 子ども図書館へのリニューアル計画の進捗状況と今後の展開は。 (4) 複合施設としての今後の展望は。 現在計画中新博物館の建設地はガレリアかめおか周辺に決まり、隣接するJ A京都本店跡地は防災拠点として整備が進められる。ガレリアかめおか周辺整備について問う。 (5) J A京都本店跡地に建設する防災拠点施設の整備計画は。 (6) 新博物館はガレリアかめおか周辺とされているが具体的な場所や今後の計画は。 (7) 文化ホール建設の計画はあるのか。 (8) ガレリアかめおか、博物館、防災拠点を縦割りに考えるのではなく、互いに関連性を持たせて総合的に考え、場合によっては1つの施設として考えることも充分あると考えるが、ガレリアかめおか周辺整備の今後の展望は。 今年も猛暑日が連続することが予想される。早くも5月20日には全国120か所で真夏日を記録し、熱中症で倒れる人も多かったと報道されている。暑さ対策と市民の健康について問う。 (1) 暑さ対策に有効な「暑熱順化」の取組強化と啓発が大事だと考えるが現状は。	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 保育園児の食育について 4 小学生の持ち物について 5 シティプロモーションについて	有機米は保育園にも提供され、小さい頃から安全・安心な食に触れることは、園児の食育や保護者への理解促進にもつながっている。保育園児の食育について問う。 (1) 幼児になってからご飯を持っていくことが、物価高騰と米不足のなかで保護者にとっては負担との声もあるが所見は。 (2) 子どもの食と健康を意識する家庭も増えるなか、保育園で提供される「おやつ」が添加物や砂糖の入った既製品のため、無添加のものを望む保護者の声も聞くが所見は。 全国的に小学生（特に低学年）の持ち物の多さと危険性について触れられることがあるが、なかでもタブレットの持ち帰りについて問う。 (1) 低学年のタブレット持ち帰りが負担との声を聞く。学校によっては持ち帰りを促している学校と、学校に置いて帰ることを許可している学校があるようだが、本市としての基準や実際の家庭学習（宿題）での使用頻度は。 来年、本市のホームページをリニューアルする予定と聞いている。イベント増加に伴い亀岡についてネット検索も増えてくるなか、亀岡の観光情報の情報整理と発信が急務であると考え。本市の情報発信や今後のシティプロモーションについて問う。 (1) 現在、観光協会のホームページ情報の内容では不十分（更新できていない）と思われるが、今後の更新予定は。 (2) 複数の観光コース（ルート）が掲載されているが、全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催に向け、新たな花と緑の観光ルートの設定など、シティプロモーションを視野に入れた新しい観光コース（ルート）を考案、発信する計画は。 (3) 新博物館建設も視野に入れ、さらに霧の芸術祭なども含めて、来年のホームページリニューアル時には、地域の行事や文化財の紹介、アーティストの作品紹介、さらに、市民や学生が亀岡を題材にした冊子や映像作品などの成果物などを紹介する、アーカイブ機能を充実させるのはどうか。	市長 所管部長 市長 教育長 所管部長 市長 所管部長
12	木村 勲 6月19日(木) 10:00~ ※一問一答	1 並河亀岡停車場線の工事の進捗について	都市計画道路並河亀岡停車場線について、犬飼川の新橋の橋梁も完成し、完成時期は今年度末と聞くが、完成時期と府道王子並河線の今後の構想について問う。 (1) 並河亀岡停車場線の完成時期は。 (2) 現在の府道王子並河線との交差点に信号機は設置されるのか。 (3) 現在の府道王子並河線が市道になるのか。 (4) 市道になった場合、千代川小学校前の市道	市長 所管部長

		川関小林線に設置したような狭窄やハンプ等による通学路としての安全対策はできるのか。	
	2 京都農業協同組合跡地の利用について	昨年末に購入したＪＡ京都本店と亀岡中央支店の敷地（１４，９００平方メートル）に対して、今年３月１１日の京都新聞の朝刊で、「新博物館はギャラリー隣接」の記事が出た。また、「音楽演奏や演劇に適した小規模と中規模の文化ホールを造る構想もある」とあった。今後の構想について問う。 （１）新博物館の規模と予算の構想は。 （２）展示物はどのような物か。また、亀岡市由来の作品は。 （３）文化ホールは本市単独で建設する予定なのか。京都丹波地域の２市１町で、府の施設として建設する考えはないのか。 （４）本市単独での建設とした場合、中規模（５００～６００席）以上の建物の建設に係る予算は。 （５）ＪＲ亀岡駅から１．６キロメートルの路線バスの増便及び千代川町・大井町・篠町からのアクセスの不便解消に向けた対策は。	市長 所管部長
	3 桂川西工区の工事の進捗状況について	国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」桂川西工区の工事の進捗状況について問う。 （１）桂川西工区全体の完成予定はいつか。また、令和１２年に換地処分が完了すると聞いているがどうか。 （２）雨水排水路は一部完成してない箇所もあるが、梅雨の時期に入っの豪雨対策はできているのか。 （３）雨水排水路は高低差が大きいため、管理道路が設置されている。人や車両が通る際の安全対策は。	市長 所管部長
	4 大井町内の田中踏切の安全について	今年２月２６日午後６時４５分頃、ＪＲ亀岡駅と並河駅間の田中踏切で、軽自動車が脱輪して非常ボタンが押されたため、ＪＲ京都駅と園部駅間で長時間運転が見合わされた。田中踏切のカーブ中央部は、路面が西高東低で勾配がついており危険な踏切である。今後の安全対策について問う。 （１）この事故によりＪＲとの安全対策協議はされたのか。 （２）カーブで見通しが悪い中、特急電車が猛スピードで通過するが、時速何キロメートルの速度か。 （３）住宅街で、人や車の往来も多く、路面の東西の高低差も大きく危険であるが、今後の安全対策の予定は。	市長 所管部長
	5 市道交差点の安全について	市道は、多く新設される中で、一時停止の標識や横断歩道の設置が遅れている。また、市道には	市長 所管部長

			カラーアスファルト舗装や十・T文字の道路標示が設置されている箇所も見受けられるが、今後の設置予定について問う。 (1) 府道・市道の一時停止標識及び横断歩道の設置基準と管理は。 (2) 府道・市道のカラーアスファルト舗装と十・T文字の道路標示の設置基準と管理は。 (3) 今後の設置予定は。	
13	片山 輝夫 6月19日(木) 10:45～ ※一問一答	1 子どもファーストクーポン事業について 2 訪問介護事業所の現状について 3 官民連携（PPP／PFI）について 4 地域公共交通について	子どもファーストクーポン事業で配布するお米引換券について問う。 (1) お米の提供が東洋ライス株式会社に決定された経過は。 (2) 亀岡産米が最適だと思うが、地元関係団体と協議を行ったのか。 (3) 市民に対する公平性の観点から、子育て世帯以外に市独自の支援を検討する考えはないのか。 訪問介護の基本報酬の引下げの結果、全国で事業所の倒産が増加している。 (1) 市内訪問介護事業所の経営実態をどのように認識しているか。 (2) 市内介護事業所のうち訪問介護事業から撤退した事業所はあるのか。 (3) 市として事業所への独自支援の強化を検討するべきではないか。 亀岡市学校給食実施方針では、整備手法について、民間活力を導入した官民連携方式が基本とされた。 (1) PFI方式は設計・建設・維持管理・運営まで一括発注のため、大手企業体が受注し、地域経済への貢献が乏しい点が指摘されている。学校給食事業に地元農家や企業はどのように関与するのか。 (2) 地域循環型経済の観点から、自校方式若しくは小規模分散型給食センターへ実施方針を見直すべきでないか。 高齢者の便利なバス交通に対する市民の要望は非常に強いものがある。特に各地域からはガレリアかめおかへの直通便を望む声強い。 (1) ガレリアかめおかを中心とするバス路線網への見直しを検討すべきではないか。 (2) 国道9号を縦断するバス路線の増便を検討する考えはないか。 (3) 亀岡市立亀岡こども園近くにバス停を追加する路線変更は検討しているのか。 (4) 地元長年の要望である亀岡地区コミュニティバスの京都府南丹広域振興局亀岡総合庁舎前への延伸は検討しているのか。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 教育長 所管部長 市長 所管部長

		5 農政の転換について	この間の減反と市場任せの米価政策により、令和のコメ騒動が起こった。 (1) 米の絶対量が不足しているなか、米増産へ舵を切るべきでないか。 (2) 米の再生産を可能にするため、農家への所得補償と価格保証を市独自施策として実施する考えはないか。	市長 所管部長
14	林 徹司 6月19日(木) 13:00~ ※一問一答	1 持続可能なまちづくりについて 2 保育と教育環境の改善について	令和8年開催予定の全国都市緑化フェア in 京都丹波については少しずつ話題に上がようになってきた。開催意義でもあるフェアで行う取組が、レガシーを創出し後まで活用できる事業として、本市の環境先進都市としての取組も重ね充実を図ってまいりたい。 (1) 先日、産業建設常任委員会では本年開催中の岐阜県の全国都市緑化フェアの視察を行い、会場までのアクセスでは、公共交通でもあるタクシーの重要性を特に感じた。本市での開催時のアクセスの対応は。 (2) 現在、陣痛タクシー事業を業務委託しているが、運転手不足の状態が続いている。今後、市内の観光と連携するような事業展開や運転手確保のために、補助金を取り入れてはどうか。 (3) 原風景を生かした会場内での農小屋設置などの計画もされていると聞くがどのようなものなのか。 (4) これからのカーボンクレジットを見据え本市として古材木を活用した古材リユースセンターを設置する取組をしてはどうか。 今6月議会の議案にある学校建設事業費増など、教育に多くの費用が見込まれる。優先順位を決めて諸事業は進められているが、今後の計画はどのように考えているのか。 (1) 小・中・義務教育学校教室へのエアコン設置は進んだが本市における体育館へのエアコン設置の進捗は。 (2) 保育所(園)等の作業員はどのような配置になっているのか。 (3) 作業員の仕事内容が危険な作業を伴うことはあるのか。 (4) 大阪・関西万博が開催して本市の小・中学生も参加が始まっているが、入場したときの課題や今後対応しなければならない点はあるのか。 (5) 東輝中学校の大規模改修の予定が本年から令和8年度に繰り越されたが、南棟3階の教室の雨漏りやよく詰まるグラウンド横のトイレと体育館床のささくれ部分など危険箇所だけでも改修してはどうか。 (6) 各中学校の吹奏楽部の楽器はどのように整	市長 所管部長 市長 教育長 所管部長

		3 防犯と安全 安心の推進について	備、維持管理されているのか。 本年1月本市は、国際安全都市宣言を発表した。セーフコミュニティ活動は、15年以上経過し成果も上げてきているが、脅威となる新たな課題も変化もしてきており、対応していかななくてはならない。そこで本市の今後の取組や対応について問う。 (1)本市ホームページにセーフコミュニティ活動が報告されているが成果と課題は。 (2)小・中・義務教育学校及び市内主要箇所の防犯カメラ設置の進捗状況はどうか。 (3)防犯カメラは犯罪抑止や犯罪捜査における有効性は高いが、プライバシーの観点から設置に慎重なこともある。インターホン式の防犯カメラ設置に補助してはどうか。 (4)昨年に成立した道路交通法改正により、来年4月以降、113の自転車交通違反に対して青切符による取り締まりが行われ、反則金を通告する方針である。 ①本市の自転車交通事故の現状はどうか。 ②この法整備に対する子どもたちへの対応や影響はどのように考えているのか。 ③市民への自転車の安全運転啓発と施行までの制度に対する丁寧な周知の計画は。 (5)令和7年6月1日より熱中症の重篤化の防止のため労働安全衛生規則が改正され熱中症対策が強化される。屋外作業があるシルバー人材センター会員も対象となるのか。	市長 所管部長
15	西口 純生 6月19日(木) 13:45~ ※一問一答	1 市長の政治 姿勢について	今年は、市制70周年、来年は「全国都市緑化フェア in 京都丹波」の開催、角倉了以翁が保津川を開削して420年の年であり、新時代創生の幕開けにふさわしい事業展開が待っている。新時代へと変化を興して、どのように天然記念物のアユモドキと共生するかを考え、令和6年9月議会では、新しくオーガニックビレッジパークにおいて「アユモドキが安心して産卵・孵化し、生育を見届け、本流へと送り出せる環境整備が必要ではないか」と質問したところ、実現に向け前向きな答弁をいただいたが、その後具体策が確認できていない。 (1)絶滅の危機から脱させる意思はあるのか。 (2)了以翁の偉大な貢献は「地球規模の偉人」とまで表現され、高く評価されている。亀岡市は、角倉了以翁の功績などをどのように評価しているのか。 (3)オーガニックビレッジパークの中には、希少種である椿の「白すみのくら」をはじめとした四季折々の花などを植栽し、子どもや高齢者をはじめ、市民、来訪客も楽しみ・学べる公園として整備してはどうか。また、保津川下りをイメージし綱道から綱はじきで舟	市長

			を引き上げたり、綱道から綱を川に落とすなど、昔の「綱はじき」や「渡し」の体験ができるものや、川の流通文化・名所・史跡・伝承・地名などの看板を設置し、遊び・体験して学べる公園として人の賑わいを創出することはできないか。 (4) 保津川開削420年を迎える来年、地球規模の偉人と言われている「角倉了以フォーラム」の開催について、所見は。 (5) 保津町の養源寺に角倉了以の位牌があるが、その檀家は角倉了以の家系である村上家の出自で、村上三郎右衛門吉正、通称三右衛門という武将の妻である。吉正が、保津・稗田野から300の兵を集め、大阪夏の陣で大活躍、武勲を挙げ、徳川家康はその武徳に応え丹波桑田郡に1,500石を与え召し抱えた。その嫡男三正以下、直系の子孫の墓地が、荒れつつあるが、今も現存している。自然石の大きな石塔が立ち並び、直系の関係者は今はおられない状況であるが、院号や年代、江戸時代初期の寛永の年号も刻まれており、これを調査し京都府の史跡として指定できるのではないかと推測している。亀岡市文化資料館の樋口氏に調査していただいた経過もあり、角倉了以家ゆかりのこの墓地は歴史ある遺跡に等しいと考える。京都府指定有形文化財（史跡）として、調査依頼と指定への道筋をつくり上げていただきたいと考えるが、市長の考えは。 次代を担う子どもたちや高齢者をはじめ、市民の夢が膨らみ生きる喜びを感じてもらえる平和で豊かな暮らしを守るための政策について、市長の政治姿勢を問う。 (6) 積極的に子育て施策を進めてきた「子どもファーストを宣言したまち亀岡市」は、全国でも知られている。高齢者からは、次の展開として、病院への通院や買物支援など高齢者の足を考えてほしいとの声があるが所見は。 (7) 住み続けたいまち亀岡を創生させるためには、市民の健康維持施策も重要である。神奈川県の実践で「がん防災」というものがあるが、亀岡市民の「がん防災」について、どのように考えているのか。 (8) 「あなたはがんです」と医師から言われた患者は、大変ショックを受けると聞いている。不治の病と認識し、悩み、仕事を辞めていく人もいると聞く。退職せずに病と向き合える環境づくりが重要と考える。亀岡市も神奈川県モデルを見習ってはどうか。 (9) 「がん防災」に取り組む企業や自治体などは増加傾向にあり、亀岡市も「がん」という病気を熟知した相談員を配置し、気軽に相談しやすい環境を整備することが必要である	
--	--	--	--	--

			と考える。また、市内の企業などにも同様の取組を働きかけてはどうか。	
16	齊藤 一義 6月19日(木) 14:45～ ※一問一答	1 本市農業の課題解決について 2 環境先進都市の炭化炉での実現について	昨年11月、食料・農業・農村政策審議会において農林水産省の試算による2030年には2020年と比べて全国で国内農地の20%に当たる92万ヘクタールの農地が耕作放棄地になる恐れがあるとされている。これは東北地方の81万ヘクタールを上回る農地面積である。 (1)本市の耕作農地面積の耕作放棄地面積と現状は。 耕作放棄地問題と相まって、少子高齢化に伴った担い手不足も問題である。 (2)本市の担い手の推移と農業法人加入者の平均年齢は。 農林水産省は2023年に発生した農作業事故の死者数が熱中症リスクの上昇で最多水準であったと発表した。 (3)本市に報告されている農作業時における熱中症や事故の件数は。 農業を推進するためには2023年4月に施行された「地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）」の策定、実行が重要である。地域農業の将来の在り方を目的とした担い手を対象とする計画であり農業を担う者ごとに利用する農地を地図に示すもので本年3月末が策定期限である。 (4)本市の地域計画は出揃ったのか。一番の課題である担い手は確保できているか。 少子高齢化で人口減少の中、本市も移住・定住・子育て支援に力を注いでいるのか問う。 (5)移住までいかなくとも、関わる人を増やしたいと地方自治体の8割が「関係人口」拡大を目指しているが、本市の考え方は。 石破総理は本年1月の施政方針演説で「地方公務員の兼業・副業の弾力化により地方の方々が力を発揮できる環境を整備する」と具体策を述べた。農業は公務員が副業先にできない「営利企業」に含まれると解釈されてきたが、どの自治体も地域の主幹産業を守ることが公務員に求められている。「地域貢献」や「公益性」に当たるとみなし全国で職員の副業基準に「農業」を明記する自治体が相次いでいる。 (6)農業に公務員が副業として就くためには首長の許可が必要である。本市職員の副業に農業を認める制度を創設してはどうか。 本市はオーガニックビレッジ宣言をしてから有機農家を育成しているが、専業農家からは成功するかどうかと不安視する声を聞く。「有機敗れてサンガ有り」とならないように小ロットでの栽培ではなく有機専業農家として出口戦略と有機農家の収益率を上げることが必要と考える。 (1)新規有機農家を勇気づけ営農を成功しても	市長 所管部長 市長 所管部長

		らえるためには炭化炉を活用したバイオ炭を土壌改良剤として有機圃場土壌改良に導入して、有機栽培に取り組みやすくしてはどうか。 (2) 年谷浄化センターの汚泥処理に係る年間経費は。 (3) 汚泥を炭化し、処理費用削減に農地や市管理の都市公園の土壌改良剤として活用してはどうか。 (4) 本市の放置竹林は、府下有数の面積を誇るとされているが、その放置竹林を炭化しクルベジをさらに進めてはどうか。 各家庭から出る剪定枝問題は未解決だが、造園業者も処理に困っている。 (5) 剪定枝も炭化すれば、庭がある家庭や、造園業者及び、市内の寺の護寺会の造園経費削減につながると考えるがどうか。 (6) 農作業から出るもみ殻や畔草の処理に農業者の野焼きによる119番通報で消防車両の出動費も削減されると考えるがどうか。 (7) 牛、豚、鳥のふん尿や生ごみを炭化し堆肥にでき、もちろんご家庭の花木の処分も炭化でき、できたバイオ炭を農家に渡し、田畑に埋設し埋めた量に応じたCO₂等の吸収量をJ-クレジットに申請し、そのJ-クレを企業に売る、これこそまさに環境先進都市・循環型社会の実現にならないか。 (8) 以上で述べたとおり、あらゆる経費削減効果や循環型社会のための国の補助金も活用した炭化炉導入で、令和8年度の全国都市緑化フェア in 京都丹波で環境先進都市をアピールしてはどうか。	
	3 石田梅岩記念館について	石田梅岩記念館開館後の管理運営は指定管理者制度で行われるようであるが、日本は訪日外国人客が10年前の1,341万人から昨年は3,686万人と約3倍の人気である。日本を訪問したい理由の1位は「日本食を食べる」であるが、「治安の良さ」も4～5位に挙げられている。 (1) 日本人の倫理観・道徳観を植えつけた心学の祖「石田梅岩」の生誕地である本市内で広く市民に周知していくための方策はあるか。 (2) 石田梅岩の教えを広めるため、淡路島でパソナグループが運営されている「禅坊靖寧」に対抗し、企業や団体等の研修に(仮称)「心学道場」を記念館の魂としてメニュー化して利用できるような方策を考えてもらえないか。 (3) 近隣の春現寺や東別院町及びオール亀岡で石田梅岩記念館を盛り上げていくことが大事だと考えるがどうか。	市長 所管部長
	4 本市の安	地域の安全のためには防犯カメラ設置が犯罪	市長

		全・安心について	認知件数の減少に効果的なのは歴然である。本市も「亀岡市防犯カメラ設置事業補助金」の制度を制定し努力いただいております、今年度からは、防犯灯の機能を有するものは限度額が8万円になったとも聞いている。しかし、建設残土や産業廃棄物の不法投棄、軽犯罪などの問題に、県境中山間地域にある自治会は困っておられ、そのため、良質な多数の防犯カメラが必要となることから、自治会予算が圧迫されている。 (1) 中山間地域で県境の自治体、特に東別院町自治会には「重点監視地域」として、防犯カメラ設置補助金の補助率増加をお願いできないか。	所管部長
17	梅本 靖博 6月19日(木) 15:30～ ※一問一答	1 OICKと中小企業振興条例について 2 探究学習について	産学公連携事業オープンイノベーションセンター・亀岡(OICK)は、今年度を補助金交付の最終年度とし、来年度以降は自らの収益によって事業を継続していかなければならないという重要な転換期を迎えている。 (1) OICKでは、自立運営に向けてどのような体制整備や事業戦略を検討し実行していくのか。 (2) 今後、収益事業としてどのような取組が想定されており、それに対して本市はどのように支援や後押しを行っていくのか。 (3) OICKが今後も地域の企業や大学と連携し、地域経済に貢献し続けるためには、行政と一定程度の関与や支援が必要だと考えるが、所見は。 現在、本市や商工会議所、OICKなどが個別に行っている地域企業支援について、制度や取組を整理・統合し、一元的な方針で推進すべきだと考える。例えば「地域の産業を支援する協議会」の設置や中小企業振興条例の制定による産学官民の支援資源を戦略的に連携させることなどについて問う。 (4) 各支援機関の取組を一つのものとして位置づけ、将来的な方向性や重点分野を本市として明文化し、支援制度の効果を高め、中小企業にとって有益なものになるよう「中小企業振興条例」を創設してはどうか。 探究学習の意義を踏まえ、現状と課題、今後の支援や民間活用の可能性について問う。 (1) 市内小学校での探究学習の実施状況をどのように把握し、教員の負担や経験の差、学校間の温度差といった課題をどのように認識しているのか。 (2) 探究学習の推進にあたって、外部人材や地域資源をどのように活用し支援策を講じているのか。 (3) 探究学習の質と公平性を保ちながら、教員の負担を軽減するため、試験的に民間事業者	市長 所管部長 市長 教育長 所管部長

		3 水道施設侵入検知及び監視システムについて 4 市道中矢田篠線の交通安全対策について	に一部の業務を委託してはどうか。 水道施設における安全対策の現状と課題、今後の対応方針について問う。 (1) 水道施設への侵入検知・監視システムの入札が不調に終わった原因は何か。また、現在は南京錠による対応にとどまっているが、市民の命を守る施設として十分な対策と言えるのか。 (2) このような重要な案件で入札が2年連続で不調になるということは、企画や仕様、業者とのコミュニケーションに課題があるのではないか。 (3) 今後、どのように水道施設の安全対策を進めていくのか。具体的な方針やスケジュールはあるのか。 篠町夕日ヶ丘と篠町篠企業団地の間を通る市道中矢田篠線には横断歩道がなく、住民から継続的に設置要望がある。当該交差点の安全対策について、市の見解と対応を問う。 (1) 交差点の現状と、過去にどのような安全対策が行われたのか。 (2) 横断歩道が設置できない場合の代替安全対策は。 (3) 他市の事例を参考とした、先進的な対策を導入する可能性は。 (4) 今後、地域住民の要望を踏まえ、どのように交通安全施策を進めていくのか。	市長 所管部長 市長 所管部長
18	山木 裕也 6月20日(金) 10:00~ ※一問一答	1 歩道の安全確保について	本市の歩道の安全性について、市民から不安の声が寄せられている。特に、通学路や高齢者が多く利用する地区の歩道において、段差や舗装の劣化、自転車の通行による危険性が指摘され、市民が安心して歩けるまちづくりのために、歩道の安全確保は喫緊の課題であると考えている。 (1) 歩道の舗装状態、点検などの現状調査はどのように行われているのか。 (2) 令和6年6月議会で、約150か所の切り株を令和8年までの3か年計画で除去するとお答えいただいたが進捗状況は。 (3) 市民から、歩道の危険箇所についての通報や、管理についての苦情はあるのか。 (4) 本市内の歩道では、自転車や電動自転車と歩行者との接触事故が増えていると聞く。防止策は検討されているのか。 (5) 歩道の補修・改修の優先順位はどのように決められているのか。 (6) 市道中矢田篠線のつつじヶ丘小学校通学路エリアの歩道におけるガードレールの設置率はどの程度か。 (7) 歩行者の安全の為にガードレールの設置や改善に向けた具体的な計画や予算確保は。	市長 所管部長

		2 竹林整備について 3 「中1ギャップ」について	亀岡市内では、放置竹林が増加し、景観の悪化や周辺の農地・森林への影響が懸念されている。適切な管理が行われない場合は、竹の繁茂により他の植物の生育が阻害され、生態系への影響が出ることも指摘されている。 (1) 竹林整備の進捗状況及び計画は。 放置竹林伐採後の竹材利用についての考えを問う。 (2) 本市として竹パウダーの製造や利活用について調査・研究をした実績はあるか。 (3) 竹パウダーを農地の土壌改良材などに活用する取組は可能か。 (4) 竹パウダーの製造機器導入への補助制度などを検討してはどうか。 全国的に、小学校から中学校への進学に伴う環境の大きな変化による「中1ギャップ」が社会的な問題となっている。このギャップは、生徒の学力低下や不登校、さらにはいじめの温床につながる可能性も指摘されており、早期段階での適切な対応が強く求められている。 (1) 本市において「中1ギャップ」と見られる事例はあるか。 (2) 小・中学校間での情報交換など、スムーズな移行を支える仕組みはあるのか。 (3) 必要に応じて教職員への研修や啓発活動は行われているのか。 (4) 子どもを適切に見守っていくために、保護者向けの説明会等を実施しているのか。 (5) 「中1ギャップ」対策として、今後本市が重点的に取り組んでいく施策は。	市長 所管部長 教育長
19	法貴 隆司 6月20日(金) 10:45～ ※一問一答	1 学校教育について	グローバル化と情報化が進む現代において、英語は国際的な共通言語であり、将来の進学や就職の可能性を広げる鍵となる。国の学習指導要領でも英語の教科化・早期化が進められており、行政としてもその方針と歩調を合わせ、地域格差を生まない教育環境の整備が求められる。 (1) 小学校で英語教育が教科化された現在、児童の英語力は向上しているか。 (2) 小・中学校・義務教育学校において教員に対する英語指導力向上研修の実施状況は。 (3) 小・中学校・義務教育学校においてタブレットやデジタル教材などを用いた英語学習の取組状況は。 (4) 小学校から中学校への英語教育の連携体制は構築できているか。 (5) 全ての小・中学校・義務教育学校にALTが配置されているか。 (6) ALTが英語授業を担う関与度は。 (7) 亀岡市英語検定チャレンジ事業の活用状況は。	市長 教育長 所管部長

			(8) 英語に対する意欲、関心を高めるために英語スピーチ大会を開催しては。 (9) 国の方針に加え、亀岡市として独自の英語教育ビジョンや取組の計画は。	
		2 学校の安全管理について	子どもたちの安全・安心な学びの場を守ることは行政の責務であり、予期せぬ事態から児童・生徒を守るためにも、計画的かつ継続的な安全管理体制の整備が不可欠である。 (1) 市内小・中学校・義務教育学校の避雷針の設置状況は。 (2) 不審者対策マニュアルは整備されているのか。	市長 教育長 所管部長
		3 地域課題について	地域の持続的発展には、安全・安心な生活基盤の整備が不可欠である。老朽化するインフラや過疎化・高齢化などの課題に対応し、市民の暮らしを守り、次世代に希望をつなぐためにも、行政が積極的に地域課題に取り組む必要がある。 (1) 曾我部町内に子どもが遊べる公園が少ないとの声があるが、都市公園の建設予定は。 (2) 市道安町南条線沿い、曾我部町南条向山に国有地があるが都市公園を建設できないか。 (3) 曾我部町重利先代31-3の防火水槽前、市道山ノ下重利線の道路幅が狭く消防車も通行できないが拡幅できないか。	市長 所管部長
		4 空き家問題について	空き家の増加は、防災・防犯・景観・衛生など多方面で地域の安全と暮らしに悪影響を与える。空き家対策に取り組むことは、地域の環境保全や住みよいまちづくり、そして人口定着活性化の基盤を築く上で欠かせない責務である。 (1) 岐阜県各務原市ではD I Y型空き家リノベーション事業が成果をあげている。本市においても空き家所有者と利用希望者をマッチングする制度の導入を検討しては。	市長 所管部長
		5 水道事業について	水道は市民の命と暮らしを支える最も大切なライフラインである。老朽化した管路や施設の更新、人材不足、経営の安定化など多くの課題がある中で、将来にわたって安全・安心な水を安定的に供給するためには、行政が責任を持って計画的に取り組む必要がある。 (1) スマートメーターはリアルタイムで使用状況の把握や異常検知が可能となり、高齢者世帯や単身者の見守りにも活用が期待される。本市における市民サービス向上の観点から導入を検討しては。	市長 所管部長
		6 令和7年度亀岡市総合防災訓練について	大規模災害はいつ起こるか分からず、日頃の備えが被害の軽減に直結する。地域の防災力を高めるためには、市民・行政・関係機関が連携し、実践的に対応力を高める機会が必要である。	市長 所管部長

			(1) (仮称) Car Shelter 野水を今年度の亀岡市総合防災訓練会場の1拠点として使用する予定は。	
20	浅田 晴彦 6月20日(金) 13:00~ ※一問一答	1 川東保育所の整備について	川東保育所の園舎は、今年で築50年になる。平成29年には、川東保育所保護者会並びに川東4町自治会から市長へ、「川東保育所移転新築にかかる要望書」が提出されている。そこで今後の施設のあり方について問う。 (1) 川東保育所の施設の現状について考えは。 (2) 平成29年に提出された要望書に記載されている亀岡川東学園隣接地への移転整備についての考えは。 (3) 亀岡川東学園隣接地への移転整備について地元では交通安全面を心配されている。安全対策について環境整備は。 (4) 新しい園舎の規模は。 (5) 認定こども園への移行についての考えは。 (6) 今後の移転整備スケジュールは。 (7) 亀岡川東学園隣接地へ移転整備後幼児教育と小学校教育の連携や充実、学校施設利用など教育委員会としての考えは。 (8) 川東保育所移転整備建設に向けた地元説明会や近隣住民への説明会開催スケジュールは。	市長 教育長 所管部長
		2 京都・亀岡バルーンフェスティバルについて	京都・亀岡バルーンフェスティバル2025が開催された。この競技飛行や各種熱気球イベントを開催しているのは府下で亀岡市だけである。インスタグラム等SNSにより認知度も上がり多くの来場者で盛り上がったこの素晴らしいイベントについて問う。 (1) 3日間の来場者数は。 (2) 事故やトラブルはあったのか。 (3) 開催日を4月にした結果は。 (4) 来年度も継続実施する考えは。	市長 所管部長
		3 全国都市緑化フェア in 京都丹波について	令和8年に全国都市緑化フェア in 京都丹波が亀岡市・南丹市・京丹波町の各地域で実施される。その緑化公園や各会場で体験イベントを考えては。 (1) 50メートル四方にTONブロックを設置し熱気球の体験搭乗ができる会場整備をしてはどうか。	市長 所管部長
		4 森林大規模火災対策について	全国各地域で森林大規模火災が発生している。亀岡市は約7割が山林であり乾燥季節にはささいな火元から延焼拡大のスピードも早く消火が間に合わないのが現状である。火災予防策として問う。 (1) 各家庭で庭の剪定作業時に大きな枝等が出た場合、ウッドチップパーがあれば細かく裁断でき田の肥料にもなると考える。亀岡市で購	市長 所管部長

			入し貸出してはどうか。	
21	松山 雅行 6月20日(金) 13:45~ ※一問一答	1 川の駅・亀岡水辺公園の整備について 2 災害対策について 3 子どもファースト事業について 4 行財政運営について	本市が京都府から無償貸与を受けている本施設の活用と要望の現状及び今後の協議形式を整える上での進捗について問う。 (1) 昨年度の施設活用の状況とその推移は。 (2) 昨年度、地元と指定管理者、南丹振興局との間で施設の今後の在り方についての協議の場が設定されたがどうであったか。 (3) 今年度の継続協議の実施予定は。 自治体における避難所整備は、市民の生命と財産を守る上で極めて重要であり、政府は南海トラフ地震が約30年以内に8割の確率で発生すると公表をしている。これらを想定したなかで、平時からの避難所の環境を整えておくことが感染症等の二次被害の防止と対策本部の強化に繋がる。本市の災害対策について問う。 (1) 避難所になる小中義務教育学校の体育館のトイレの洋式化率と清掃やメンテナンスの現状は。 (2) 想定避難者数からみた各学校への簡易トイレの配備方法は。 (3) 災害対策本部はじめ市職員の避難食等の配備環境は。 (4) 令和5年9月議会で市長から言及のあった防災服についての検討状況は。 (5) 山林火災等があった場合、災害時相互応援協定は適用するのか。 (6) 協定先との日頃の連携協議はどのようにしているか。 物価高騰の影響が長期化し、特にエネルギーや食料品の価格が高騰しており家計負担が増大している。子育て世帯においても家計に占める食費割合が大きいが本市の独自対策について問う。 (1) 子どもファーストクーポン・お米配布事業の詳細と趣旨は。 (2) クーポン及びお米の配布方法は。 (3) 現在、妊娠中の方への対応はどうか。 本市は企業との連携やパートナーシップ協定を推進し、公共サービスの充実や持続可能なまちづくりを行うため、様々な手法を積極的に取り入れていると考えるが、人口減少社会において自治体の舵取りは非常に難しい状況である。今後の行財政運営の在り方について問う。 (1) 現在、本市との連携企業やパートナーシップ協定はいくつあるか。 (2) 官民連携の効果は総体的にどうであるか。 (3) 本市におけるP F S / S I Bの導入状況はどうか。 (4) 本市の適正人口規模はどのように考える	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

			か。	
22	小林 仁 6月20日(金) 14:45～ ※一問一答	1 子どもオンブズパーソン制度について 2 新規就農者育成と地域農業の活性化について	近年、全国的に子どもに対するいじめ、虐待、不登校などの事案が後を絶たない。亀岡市においても、子どもが安心して成長できる環境を整備することは、喫緊の課題と考える。このような状況において、子どもの権利侵害を未然に防ぎ、早期救済を図るために有効な手段として、子どもオンブズパーソン制度が川西市、小金井市などで導入されている。そこで特に学校現場における制度の創設について問う。 (1)本市において、いじめについて児童生徒にアンケート調査を行っているのか。 (2)本市における子どもの相談窓口体制は。 (3)本市に設置されている相談窓口の利用件数は。 (4)子ども本人が直接、相談することや電話相談することはあるのか。 (5)子ども自身の権利教育の重要性について所見は。 (6)学校運営において「いじめ」や「不登校」及び「学級崩壊」につながりかねない事案などの対応負荷と責任が増加している。これは学校の在り方そのものや、それを支える教育行政の課題と考える。 ①問題が解決しないのは「担任などの力量不足」という結論になっていないか。 ②教育委員会を含め「チーム学校」として組織的な対応により総がかりで解決する体制づくりが必要である。所見は。 (7)学校の問題解決サポートを主たる役割とするスクールロイヤー制度に加えて、子どもの権利擁護を主たる役割とする子どもオンブズパーソン制度の導入が必要と考えるが、所見は。 我が国の農業は、高齢化と後継者不足が深刻な課題となっており、食料自給率の維持や多面的機能の発揮のため、新たな担い手の確保・育成が喫緊の課題である。「認定新規就農者制度」は新たに農業経営を開始する方が作成する「青年等就農計画」を市町村が認定することで、様々な支援が受けられる重要な制度である。本市の農業の持続的発展と地域経済の活性化には不可欠である。現状の課題、今後の施策の方向性について問う。 (1)本市における認定新規就農者の現状と課題認識について問う。 ①過去5年間の認定新規就農者の推移は。 ②計画認定後の定着率を把握しているか。 ③認定新規就農者が認定を受けるまでのプロセスにおいて新規就農者が直面しやすい課題や、行政が感じる困難な点とは。 ④就農後の持続的な経営を確立していく上	市長 教育長 所管部長 市長 所管部長

			で課題の認識は。 (2) 支援策の充実と強化について問う。 ①農地の確保という大きな課題について具体的な支援策を講じているのか。 ②移住を伴うケースも多いと推測する。移住できなければ定着し難いが、移住相談や地域への溶け込みの取組は行っているか。 ③認定新規就農者のメリット措置の利用者数は。 (3) 地域農業活性化のビジョンについて問う。 ①今後、何年後に何名の新規就農者の定着を目指すなど、目標値やビジョンはあるのか。 ②この制度を単なる支援策に留めず、持続可能な地域社会につなげるための市の展望は。	
23	菱田 光紀 6月20日(金) 15:30～ ※一問一答	1 地方創生について 2 スポーツ振興について 3 相続について	国においては、地方創生に関する取組として、東京一極集中や人口減少に対応するための地方移住を推進してきたが、2034年度までの今後10年間に集中的に取り組む「地方創生2.0」では、地方への若者の流れなどを見据えて関係人口重視などの案が地方創生に関する有識者会議に示されている。 (1) 基本構想をまとめた後、今年度中に具体的な総合戦略を策定されると聞いているが本市ではどのように受け止めているのか。 (2) 基本構想の中で地方への若者の流れや若い世代、女性の働きやすさ、脱炭素化などが数値目標のテーマとして取り上げられると聞く。本市の得意分野も多く見受けられるように思うが所見は。 (3) 特に、関係人口について二地域居住をする人を「ふるさと住民」として登録する制度を設けて数値目標としようとしているようだが本市の受け止め方は。 今夏、東京で開催される東京2025デフリンピックに前回のデフリンピック・リオデジャネイロ大会の女子棒高跳びに初出場し、見事銅メダルを獲得された末吉凧さんが出場内定したと聞く。 (1) 小・中学生をはじめ、本市在住や在学、在勤の方が様々なスポーツ大会などで成果を収められた時の表彰などについてどのような制度を設けているのか。 (2) 今回のように世界的な大会に出場される場合、市民にも呼びかけて応援する体制をつくるべきだと思うが所見は。 2023年度から始まった「相続土地国庫帰属制度」では、この2年間で当該土地の約4割が農地である。 (1) 本市における当該制度の利用状況は。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		4 道路改良について	(2) 当該制度の利用に係る相続者の負担額はどのくらいかかるのか。 (3) (1)の利用者が支払った負担額はいくらだったか。 (4) 本市では、府営、国営などでは場整備が進められてきているが、今後、このような制度を利用しなくてもよい農業施策が必要だと考えるかどうか。 (5) 特に、オーガニックビレッジ宣言を行った本市としては、さらなる有機農業の推進が必要だと考えるかどうか。 国道9号の下矢田交差点、矢田口交差点については、国において交差点改良に向けて事業が進められている。 (1) 現在、一部では建物の除去などが見られるが用地取得に向けた進捗状況は。 (2) 矢田口交差点では、これと合わせて本市が行う道路改良もあるが今後の予定は。 (3) 全体的な完成時期はそれぞれいつ頃になるのか。	市長 所管部長
--	--	-------------------	---	--------------------